

# としょかんの広場

## 小説の中の習志野市

小説の中に知っている場所が出てくると、より生き生きと情景が浮かび、作品を身近に感じることができますね。

習志野市が舞台となった小説では『坂の上の雲』(司馬遼太郎/著)が有名ですが、今回はその他の習志野市が登場する作品を紹介します。



### 『永遠の出口』

森 絵都/著(集英社)

千葉県内の田舎町が舞台ですが、主人公のデート場所の一つに津田沼が挙げられています。また、元恋人と再会するのも津田沼です。同じ著者の「みかづき」(集英社)にも習志野市がでています。

津田沼で偶然、保田くんを見かけたのは、卒業式のほんの二週間前のことだった。きりきりと冷たい日曜日、美容院でパーマをかけた私が一刻も早く家に帰ろうとしていると、駅へ続く大きな歩道橋のど真ん中で、誰かが手相見に捕まっていた。(p.295)



### 『緋紗子さんには、9つの秘密がある』

清水 晴木/著(講談社)

京葉線沿いの習志野市が登場します。習志野市出身の著者の『海に見える花屋フルールの事件記』(TOブックス)、『体育会系探偵部タイタン!』(講談社)、『星に願いを、君に祈りと傷を』(KADOKAWA)にも習志野市がでています。

家から歩いてすぐ、新習志野駅に辿り着く。駅には会社帰りだろうか、スーツ姿の人々も目立った。駅前のバスロータリーのあたりには活気がある。国際水泳場の周りにもジャージ姿の人が何人かいる。小さなショッピングモールもあるので、まだ賑やかな雰囲気があった。(p.91)

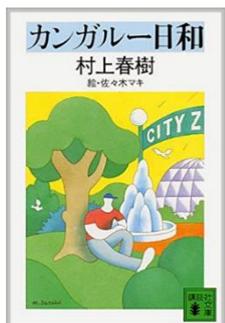


### 『神様の名前探し』

山本 風碧/著(双葉社)

主人公の父親の実家が船橋市の二宮神社をモデルにした神社ですが、習志野市も実在の地名ででています。

薫と瑛太は新京成の松戸行きに乗る。日曜の朝、しかも混雑する津田沼行きとは反対方向ということで電車は空いていて、二人して座席に腰掛けた。曲がりくねったこの鉄道は昔、軍用鉄道だった名残でカーブが多いと聞いたことがあるが、それにしてもよく曲がる。(p.87)



### 『カンガルー日和』

村上 春樹/著(講談社)

著者が、船橋市習志野台に住んでいた時代に書かれた短編です。明記されてはいませんが、舞台の動物園は谷津遊園をモチーフに書かれたようです。

表題作である カンガルー日和 は、今はなき谷津遊園に行ったあとで書いた。僕が千葉に住んでいたころのことである。(『村上春樹全作品 1979~1989 5 短編集』補足する物語群「自作を語る」p.6)

## ◇習志野市が登場する作品を教えてください◇

中央図書館では、習志野市が登場する小説・エッセイ等の情報を募集しています。皆さんが読んだ作品(旅行ガイド類は除く)で習志野市が登場していたら、ぜひお知らせください。リスト化して紹介してまいります。

※ 中央図書館 4 階の「郷土行政資料コーナー」に応募用紙と受付箱が置いてあります。

## 成人向け講座『家庭で楽しむ絵本の選び方講座(幼児向け編)』を開催しました

2月15日(土)に成人向け講座『家庭で楽しむ絵本の選び方講座(幼児向け編)』を開催しました。プラッツ習志野の和室で図書館職員が読み聞かせしながら絵本の選び方を紹介しました。熱心にメモを取る方や、子どもと一緒にゆったりと聞いている方など、それぞれのスタイルで受講されていました。講座後に、絵本の貸出しも多くありました。



## ◇◆特集展示コーナーのご案内◆◇

### 『外国語でたのしむ絵本の世界』

中央図書館ではこれまで新習志野図書館が収集していた外国語の資料を移管しました。

今回はその中から、日本語に加えて英語や中国語など、2 つ以上の外国語に翻訳されている絵本を紹介します。「外国語で書かれた『お馴染み』の絵本」をお楽しみください。

## 図書館アンケートへの御協力ありがとうございました

令和元年12月11日から令和2年1月12日まで、市内各図書館で「習志野市立図書館利用についてのアンケート」を実施いたしました。結果がまとまり次第、各図書館での閲覧の他、習志野市立図書館のホームページで公開する予定です。

アンケートの結果は今後の図書館運営に役立てて参ります。御協力ありがとうございました。

中央図書館カレンダー(色の付いた日が休館日です)

令和2年(2020年)3月							令和2年(2020年)4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30		

祝日開館日:3月20日/4月29日

### ★編集後記★

今回紹介した「習志野市が登場する作品」を手にとられた時は、習志野市がでてくるのを待ちながら物語を最初から読みすすめるほうが楽しめますよ。

中央図書館報 としょかんの広場  
第3号(通巻87号)

発行日:令和2年3月1日

編集・発行:習志野市立中央図書館

電話:047-475-3213

<https://www.narashino-lib.jp>